



大阪科学・大学記者クラブ 御中

公立大学法人大阪市立大学

全国同時七夕講演会 7月16日(月・祝) 14:00~16:30

「アインシュタインの宇宙」

ブラックホール、宇宙の膨張についての話をわかりやすく講演します

大阪市立大学と大阪市立科学館は、全国同時七夕講演会「古墳壁画にえがかれた七夕—1600年前、極東アジアの人々がとらえた宇宙と世界—」と「アインシュタインの宇宙」を平成24年7月16日(月・祝)に大阪市立科学館にて開催します。

「全国同時七夕講演会」は世界天文年と定められた2009年より毎年全国各地で開催されています。本講演会も今年で4回を数えますが、今回は本学と公益財団法人大阪市博物館協会の包括的連携事業の一環としてこの講演を位置づけ、人文科学と自然科学の両方から講演を行います。

本学からは、理学研究科の石原秀樹教授が「アインシュタインの宇宙」と題し、アインシュタインが考え出した相対性理論、そして、ブラックホール、宇宙の膨張についての話をわかりやすく講演します。多くの方のご参加をお待ちしています。

記

■日時：平成24年7月16日(月・祝) 14:00 ~ 16:30 (開場13:30)

■場所：大阪市立科学館 研修室

大阪市立科学館へのアクセス http://www.sci-museum.jp/server_sci/info/access.html

■対象：中学生以上

■定員：100名(希望者多数の場合は抽選)

■参加費：無料

■申し込み方法：往復ハガキに、イベント名「七夕講演会」と参加希望者本人の氏名・住所・電話番号・年齢(または学年)と、一緒に参加希望の方の氏名と年齢を記入して〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1 大阪市立科学館「七夕講演会」係へお送りください。

【7月4日(水)必着】

※いただいた個人情報は、この講演会の連絡のみに使用し、他に利用されることはありません。

なお、講演の申込みに関する問い合わせは大阪市立科学館へ直接ご連絡ください。

(大阪市立科学館 TEL: 06-6444-5656)

■主催：大阪市立大学、(公財)大阪市博物館協会、大阪市立科学館、(公財)大阪科学振興協会、中之島科学研究所、日本天文学会

■共催：天文教育普及研究会

■プログラム：

14:00 開会挨拶 大阪市立大学大学院理学研究科長 櫻木 弘之
公益財団法人大阪市博物館協会事務局長 西 良文
公益財団法人大阪科学振興協会事務局次長 枚田 哲郎

14:10 講演

講師：南 秀雄 ((公財)大阪市博物館協会 大阪文化財研究所次長)
演題：「古墳壁画にえがかれた七夕
－1600 年前、極東アジアの人々がとらえた宇宙と世界－」

15:10 休憩

15:25 講演

講師：石原 秀樹 (大阪市立大学大学院理学研究科教授)
プロフィール：京都大学助手、助教授、および東京工業大学助教授を経て現職。専門は、一般相対性理論を用いた宇宙物理。
演題：「アインシュタインの宇宙」
概要：1915 年に公表されたアインシュタインの一般相対性理論。当時、「これを理解できるのは世界でも指折り数えるほどだろう」と言われました。けれども今や、世界中の研究者たちが、一般相対性理論を使って宇宙のありさまを研究し、驚くべき宇宙の姿が明らかになるうとしています。アインシュタインが考え出した相対性理論、そして、ブラックホール、宇宙の膨張・・・やさしい言葉で説明します。

16:30 終了

■全国同時七夕講演会について

2009 年、ガリレオ・ガリレイが世界で初めて望遠鏡を宇宙に向けてからちょうど 400 年であることを記念し、国際連合、ユネスコ、国際天文連合はこの年を「世界天文年」と決めました。それにちなんだ企画として始まった「全国同時七夕講演会」には、毎年たくさんの方々に御参加いただいています。

以上

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学学務企画課 地域貢献担当 担当：山尾・北岡
TEL 06-6605-3504 FAX 06-6605-3505

全国同時七夕講演会

大阪市立科学館・大阪市立大学・大阪市博物館協会連携行事

「古墳壁画にえがかれた七夕」

—1600年前、極東アジアの人々がとらえた宇宙と世界—



徳興里古墳 七夕図

南 秀雄 公益財団法人大阪市博物館協会 大阪文化財研究所次長



「アインシュタインの宇宙」

Einstein



石原秀樹 大阪市立大学 大学院理学研究科教授

主催：大阪市立大学、(公財)大阪市博物館協会
大阪市立科学館、(公財)大阪科学振興協会
中之島科学研究所、日本天文学会

共催：天文教育普及研究会

【問い合わせ】

大阪市立科学館

TEL: 06-6444-5656

2012年7月16日(月・祝)

午後2時より

大阪市立科学館

大阪市北区中之島4-2-1

<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/tanabata12/>

全国同時七夕講演会

参加者募集

2009年、ガリレオ・ガリレイが世界で初めて望遠鏡を宇宙に向けてからちょうど400年であることを記念し、国際連合、ユネスコ、国際天文連合はこの年を「世界天文年」と決めました。それにちなんで企画として始まった「全国同時七夕講演会」には、毎年たくさんの方々に御参加いただいています。今年は大阪市博物館協会との連携で人文・自然科学の両方から星・七夕について思いを馳せたいと企画しました。果てしない宇宙に思いを寄せた古代人の声にも耳を傾けてみてください。たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

- 講師： 南 秀雄（公益財団法人大阪市博物館協会 大阪文化財研究所次長）
- 演題： 「古墳壁画にえがかれた七夕ー1600年前、極東アジアの人々がとらえた宇宙と世界ー」
- 概要： 朝鮮半島のピョンヤンあたりに七夕伝説をえがいた見事な古墳壁画があります。えがかれたのはおよそ1600年前。当時、栄えていた古代国家高句麗では多くの壁画古墳がつくられ、星と星座、太陽と月、天の川などが、各種の図像と組み合わせてえがかれました。その構成を分析すれば、当時の人々が世界や宇宙をどのようにとらえていたのかわかります。同じころ、古墳時代であった日本列島でも、七夕の伝説に親しむ人々がいたことでしょう。
- 講師： 石原秀樹（大阪市立大学大学院理学研究科教授）
- 演題： 「アインシュタインの宇宙」
- 概要： 1915年に公表されたアインシュタインの一般相対性理論。当時、「これを理解できるのは世界でも指折り数えるほどだろう」と言われました。けれども今や、世界中の研究者たちが、一般相対性理論を使って宇宙のありさまを研究し、驚くべき宇宙の姿が明らかになろうとしています。アインシュタインが考え出した相対性理論、そして、ブラックホール、宇宙の膨張・・・やさしい言葉で説明します。

- 日 時：平成24年7月16日（月・祝） 14：00～16：30（開場 13：30）
- 場 所：大阪市立科学館 研修室
（〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1）
- 対 象：中学生以上
- 定 員：100名（希望者多数の場合は抽選）
- 参加費：無料
- 申込み：必要（締切り：平成24年7月4日（水））往復ハガキに、イベント名「七夕講演会」と参加希望者本人の氏名・住所・電話番号・年齢（または学年）と、一緒に参加希望の方の氏名と年齢を記入して、**〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1 大阪市立科学館「七夕講演会」**係へお送りください。いただいた個人情報は、この講演会の連絡のみに使用し、他に利用されることはありません。

【問い合わせ】

大阪市立科学館

<http://www.sci-museum.jp>

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1

TEL: 06-6444-5656, FAX: 06-6444-5657



会場へのアクセス：

詳しくは「大阪市立科学館」のホームページをご覧ください。

http://www.sci-museum.jp/server_sci/info/access.html

主催：大阪市立大学、（公財）大阪市博物館協会、大阪市立科学館、（公財）大阪科学振興協会、

中之島科学研究所、日本天文学会

共催：天文教育普及研究会